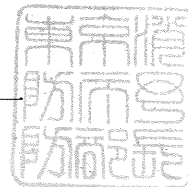




29 予防第360号
平成29年7月5日

一般社団法人日本建設業連合会
会長 山内 隆司 様

東京消防庁
予防部長 柏木 修一



解体工事現場における火災予防対策の徹底について（依頼）

平素から、消防行政につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先般、東京都江東区新砂の解体工事中の現場において、工事作業員1名が負傷する大規模な火災が発生しました。出火原因等は現在調査中ですが、プロパンガス切断器を使用中に溶断火花が周囲の可燃物に着火した可能性が考えられ、解体工事現場における火災予防対策について憂慮されます。

つきましては、同種の火災発生の防止について、万全を期していただきますようお願い申し上げます。

また、貴会の会員各社の皆様方に、下記事項の火災予防対策の徹底について周知していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

- 1 可燃物、危険物等の付近での火気使用の禁止
- 2 喫煙管理の徹底
- 3 資器材の整理・整頓、定期的な巡回等による放火防止対策の実施
- 4 消火器等の準備による消火できる体制及び避難経路の確保
- 5 工事責任者による日常の火気管理等の確認及び終業時の点検
- 6 工事責任者による工事作業員に対する遵守事項の徹底

問合せ先

東京消防庁
予防部防火管理課指導係 柳内 鈴木
電話 03-3212-2111(代)
内線 5122 5125

解体工事現場の関係者の皆様へ

なくそう！工事現場からの火災

建物工事に関連した火災は、東京消防庁管内で毎年約 100 件発生しています。

主な出火原因として、溶接や溶断作業による火花の飛散や作業員等の喫煙の不始末、更には、夜間施錠されていない工事現場への放火などがあげられます。

同種の火災を起こさないよう、次の工事中の火災予防対策を徹底し、火災予防に万全を期していただくようお願いします。

● 工事現場の主な出火原因

1. 溶接・溶断作業関係
2. 放火（又は放火の疑い）
3. たばこ



● 工事中の火災予防対策

1

可燃物、危険物等の付近での火気使用の禁止



2

喫煙管理の徹底



3

資器材の整理・整頓、定期的な巡回等による放火防止対策



4

消火器等の準備による消火体制の確保



5

避難経路の確保



6

日常の火気管理等の確認及び終業時の点検



工事中の防火管理について、東京消防庁ホームページも併せてご覧ください。

(トップページ→安全・安心情報→事業所アドバイス・工事中の防火管理)

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>

問合せ先

東京消防庁予防部防火管理課

電話 03-3212-2111 (代)